

うえすと老上

コロナ禍でも、前へ●●●

「この一年を振り返って」

老上西学区まちづくり協議会
会長 伊庭 健治



今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、“まちづくり協議会”も『敬老会』『ふれあい音楽まつり』および『ALL 老上ふれあいスポーツ大会』などの主要行事や様々な活動をやむなく『中止』させていただきました。楽しみにされていた皆様には、申し訳ない気持ちで一杯です。

この『コロナ禍』の中でも、「まち協として、何かできる事はないだろうか？」と考え、マスクが手に入らなかった5月には、学区内にマスクの配布を行ないました。また、12月には、大きな災害時、助けを求める際に必要となる情報を保管するための「いのちのバトン」の配布も実施しました。

【マスクの配布】



これからも一番大切な『いのち』を守り、人への『思いやり』の心を広げ、この難局を皆様と共に乗り越えて行きたいと思えます。

今年度の皆様のご協力・ご支援に感謝すると共に、皆様のご健康をお祈りいたします。来年度も皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

【いのちのバトン】



まちの小さな美術館 (老上西まちづくりセンター)

11月

墨絵

墨絵教室の皆さん



墨は奈良時代に中国から伝わりました。墨絵を大きく分類すると白描画、仏画、墨彩

画、水墨画となり、展示した作品の中には着色したものもありました。

私たちの墨絵教室は、今から30年ほど前に老上公民館でスタートしました。その後、矢橋のシルバーセンターに場所を替え、故・山本つるさんが安土八重子先生を招き墨絵教室を継続、現在に至ります。

12月

藍染

藍染講座受講の皆さん



10月31日(土)に開催しました「藍染体験」受講者の方々の作品を展示しました。

藍染体験は『染めたいものを染める』自由な教室です。展示作品は、受講者ご自身が用意されたTシャツ・ハンカチ・手ぬぐい・ランチョンマットなどを藍で染めたものです。



1月

大津絵

岡田 きぬ子さん
芝田 佳江さん
横江 登美子さん
芝田 ゆき子さん

大津絵は、江戸時代の寛永年間(1624~1644年)のころ生まれ、当初は仏教の信仰の一環として仏画を中心に描かれ、浮世絵とともに日本の二大民画といわれています。

その大津絵を柳宗悦、北大路魯山人、棟方志功、白洲正子など日本の名だたる目利きが大津絵の魅力を感じ蒐集したそうです。敷居が高そうですが、私たち四名は、堅苦しくなく、ワイワイ、ガヤガヤと楽しく描いています。



編集・発行

老上西学区まちづくり協議会(老上西まちづくりセンター内)

〒525-0066 草津市矢橋町 526 番地 1 TEL: 565-1995 FAX: 565-2000
URL http://www.machikyou.jp/oikami_nishi/
E-mail: oinishi@machikyou.jp



老上西学区 1月31日現在

人口 8,694 (+28)

世帯数 3,315 (+12)

(10月31日との比較)

福祉のページ

新たな活動をめざして

老上西学区社会福祉協議会
会長 服部 勝義



平成から令和に元号が変わり新しい時代を迎えたとたん、中国武漢市から新型コロナウイルスが世界中を襲ってきました。我が国でも緊急事態宣言が2回も発出される事態となり、新しい生活様式を強いられ、遠くに暮らしている家族が里帰りもできない事態となっています。学校や職場では、友達や同僚と以前のように気軽に話すことも、大声でふざけあうこともはばかれる状況です。

社会福祉協議会としては、どうすれば「誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」ができるかを考える一年でした。この経験を活かし、令和3年度はコロナ禍においても社会福祉活動が実施できる方法を熟慮し、地域密着型の事業を進めてまいります。また、老上西学区まちづくり協議会とも緊密な連携で、地域に寄り添った老上西学区モデルの社会福祉活動を実施してまいります。

皆様のなご一層のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

<お知らせ>

老上西学区社会福祉協議会の評議員会(総会)を4月27日(火)19時30分から老上西まちづくりセンターで開催する予定です。

評議員の方々は、ご出席賜りますようお願いいたします。

賛助会員加入のお礼

昨年末、老上西学区内の企業に賛助会員の募集、協力をお願い致しましたところ、26社から合計160,000円のご寄付をいただきました。また、思いやりの箱を四カ所設置させてもらい、合計4,549円のご寄付をいただきました。

社会福祉活動の貴重な財源として使わせていただきます。



令和2年度の社会福祉功労者表彰

草津市社会福祉協議会では、毎年、社会福祉活動の推進に寄与された方々を社会福祉功労者として、その功績を称えて表彰しています。令和2年度は老上西学区として、山本照夫(矢橋町)様と谷口久子(中林町)様が表彰されました。

おめでとうございます。

うえすと老上「こ～んな人」

鞭崎神社の法人化に取り組む!②

～ なぜ、本多家の家紋が、ここに? ～

矢橋町にある鞭崎神社の法人化に取り組む中で、永い歴史を積み重ねてきた痕跡を改めて確認しました。その一つを紹介します。

関ヶ原の戦いが終わると、徳川家康は「膳所城」を築城します。城主は譜代大名の戸田氏でしたが、その後本多氏、菅沼氏、そして再び本多氏(7万石)と移りました。

徳川の家紋は、江戸時代の時代劇や水戸黄門の映画でお馴染みの「三つ葵」紋です。一方、天皇家の家紋は「桐」の紋で、足利義昭が織田信長に与えたといわれる家紋で、豊臣秀吉も使っている「五三桐」です。徳川家康が政権を奪うと朝廷は桐紋を与えようとしませんが、これを受けず「三つ葵」を使うようになりました。同時に葵の紋を将軍家以外が使う事を禁じ、身内の松平家であっても、葵を家紋に使うことを禁じたのです。しかし、例外で徳川家きっての古参家臣である本多家は、上賀茂神社の神官を先祖とした家柄であったのでその使用を認めました。膳所城主となった本多氏は、根元から三本の茎が立ち分かれている「本多葵」を家紋にしました。鞭崎神社表門は、膳所城南大手門を移築したもので、



矢橋町
山本 國昭さん

その瓦には、この「本多葵」(立ち葵)の紋がついています。



老上西小学校

『ICT教育が進んでいます』

令和2年度から小学校では、新学習指導要領に基づく学習が全面実施されています。その中で、新しい内容の一つとして、『プログラミング教育』が小学校で実施されることになりました。小学校での『プログラミング教育』は、「プログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考力を身に付けるための学習活動」とされています。

草津市では、以前からタブレットPCを使ったICT教育や、Pepper(ペッパー)を使ったプログラミング学習に積極的に取り組んできました。そして、今年度からは、全児童にiPad(アイパッド)が行き届くようになり、プログラミング学習を進めていく上で、とても良い環境が整っています。

本校でも、小学1年生から6年生まですべての学年で、プログラミング学習に取り組んでいます。「Scratch(スクラッチ)」や「Viscuit(ビスケット)」というプログラミングツールを使い、図形を描いたり、音楽を鳴らしたりします。子どもたちは、新しいことをどんどん吸収して、自分だけのオリジナルプログラムを作っていくようになります。「Scratch(スクラッチ)」や「Viscuit(ビスケット)」は、インターネットに接続できる環境があれば、ご家庭でも無償で使え、説明をするサイトもたくさんあります。みなさんも挑戦してみてください。



老上西学区地域協働合校通信



地域協働合校

『新春書き初め大会』

1月9日(土)、地域協働合校とわんぱくプラザ老上西共催の「新春書き初め大会」が老上西小学校体育館において開催されました。

今年は、コロナウイルス感染防止策をとっての開催。例年より少ない参加者数でしたが、草川 薫人先生により5.0m×4.5mの用紙に今年の干支にちなんだ「勇(Brave)」という文字が書かれると会場は大いに盛り上がり、代表の児童2人が、自分の思いを書き添えました。

その後、参加した児童は草川先生から指導を受け、のびのびと力強く課題の文字を書きあげました。先生の審査を待つ間、地域の団体の協力でニュースポーツなどをして楽しみました。



わんぱくプラザ老上西

『クリスマス会で楽しみました』

12月12日(土)、わんぱくプラザ老上西主催の「クリスマス会」が、小学1~6年生44名が参加して、老上西まちづくりセンターで開かれました。一階の調理室では、生地をクリスマスの図柄にくり抜いてのクッキー作りをしました。場所を二階の大会議室に移して、円形の段ボールに色んな形の Pasta をのり付けし、その後、

外で金や銀のスプレーで色を着け、クリスマスリースを作りました。晴れ渡った空の下、一足早いクリスマスをみんなで楽しみました。



Merry Christmas

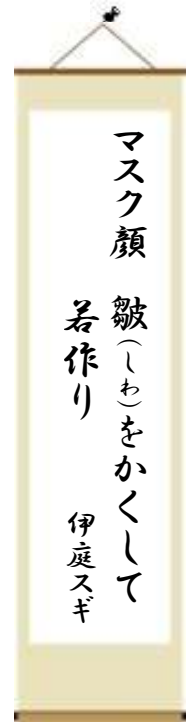


センターを花いっぱい

老上西まちづくりセンターの玄関脇に花壇が二つあります。



ある日、地域の方がセンターに来られ、『ずいぶんと雑草が生えている。雑草は小さいうちに根ごと抜かんとアカン』と、持参されたピンセットで、わずか1センチにも満たない雑草を抜き始めました。その後も週に2回程度ずつ作業をしていただき、雑草はほとんどなくなりました。きれいになった花壇に草花を植えていただき、今では季節ごとに美しい花が咲くようになりました。本当にありがとうございました。



おいにし川柳
川柳を募集しています。
まちづくりセンターまでご応募ください。

移動図書館「わかくさ」号 巡回のお知らせ (草津市立図書館)

4月からの巡回は、以下の三カ所を予定しています。
(但し、祝日と重なる時は、巡回する曜日を変更いたします)

- ◎矢橋ふたばこども園 (矢橋町)
毎月第一木曜日 14:00~14:30
- ◎鳩が森・よし池児童遊園 (よし池・鳩が森両町集会所横)
毎月第一木曜日 15:00~15:20
- ◎第三保育所 (橋岡町)
毎月第三木曜日 14:00~14:30



以前のテレビ番組に『if もしも』というドラマがありました。

主人公が人生の岐路に突き当たり、そこから二手に分かれたストーリーをそれぞれ描くという異色なドラマでした。道を選ぶことに迷って、後から振り返った時「これでよかったのか?もし別の道を歩んでいたら・・・」と考えることが日常にあります。

また、最近「縁」を感じる事が時々あります。今の私の存在。特に人との出遇いの不思議を有難く思うのです。例えば、私は十数年前から手話サークルに入っています。私の寺の門徒

私の一文字

縁

福井 みのるさん
(矢橋町 善行寺住職)

で聴覚障がい者がおられ、その方とのコミュニケーションをスムーズにするために始めました。その方が私に手話を始める縁を作ってくださいました。

あえて「出会い」ではなく「出遇い」を用いるのは「縁」によっての道があるからです。

偶々の「縁」で出遇い、今こうして生かされている「ご縁」を大切に日々暮したいものです。

【お詫びと訂正】

「うえずと老上」第19号(R2年12月15日号)の「私の一文字」の記事の中で、明吉様のお名前が間違っておりました。お詫びして、訂正いたします。 正→ 明吉 正知 様

【日・々・雑・感】

さだまさしに「雨やどり」という歌がある。雨宿りで知り合った娘と青年が、やがて結婚へというコミックソング。老上地域では、近年、たくさんの中興住宅ができてきた。中興住宅には飲み屋街、社寺、大木がないのが定義だそう。そして新しい家には雨宿りさせてもらう軒がめったにない。老上西にはまだまだ昔からの家屋が多い。こちらは雨宿りスペース十分。縁側もある。新旧住民が混在するこの地域。若い中興住民と昔からここに住む人たちが、一緒になって縁側で交流する。こんな風景をたくさん見たい。(S)

脳活クイズ

問題

何と読むのでしょうか?
生き物の名前ですよ。

- A. 紅娘
- B. 浣熊

前回の答えは、「五十住」【いおずみ】と「四月一日」【わたぬぎ】でした。

